



# CHIBA HIGASHI ROTARY CLUB



2008-2009

## Weekly Report

会長 曾我 浩  
幹事 吉田 宏一

国際ロータリー会長 李 東 建  
第2790地区ガバナー 崎山 征雄  
第3分区Aガバナー補佐 川島 教昭

### 第779回

2008.8.4

#### 本日のお客様

飯田会員ゲスト

洪 春花 様

#### 会長挨拶

曾我 浩 会長



暑い日が続きます。東京の気温はこの100年間で3度上昇したといわれています。ヒートアイランド現象です。コンクリートで固められた都市は少し雨が降ると川が氾濫します。神戸の都賀川の氾濫がその典型です。六方都市下水路も少しの雨で濁流が流れます。われわれは自然に対してあまりにも不遜でありました。自然をバカにしていると自然は牙をむきます。しかしその犠牲はいつも弱いものつまり子供と老人であります。D・K・Leeも子供たちに光を与えたいといっています。そのために今地球で何が起きているのかつかみたいと思っています。

先週の土曜日(8月2日)千葉西ロータリークラブの例会に参加してきました。ロータリーの目的は奉仕と親睦であり、友好と奉仕を志す人々の団体です。このためにも例会出席と同時に他のクラブへもメイキャップに行くことが非常に重要になってくると思います。私も努めてこれまで話したことの無いロータリアンと話すように努めました。こうした中でさまざまな奉仕の機会が出てくるのではないのでしょうか。

先週の土曜日(8月2日)千葉西ロータリークラブの例会に参加してきました。ロータリーの目的は奉仕と親睦であり、友好と奉仕を志す人々の団体です。このためにも例会出席と同時に他のクラブへもメイキャップに行くことが非常に重要になってくると思います。私も努めてこれまで話したことの無いロータリアンと話すように努めました。こうした中でさまざまな奉仕の機会が出てくるのではないのでしょうか。

#### 幹事報告

吉田 宏一 幹事



本日は例会終了後、理事・役員会がごさいます。理事・役員の皆様、何卒宜しくお願い致します。

#### 8月のお祝い

##### 誕生日祝



社会員

#### 委員会報告

##### 会員増強委員会

飯田委員長

2名の会員推薦がありますので、理事会での承認をお願い致します。



##### 親睦委員会

池田委員長

8月30日(土)に納涼家族例会があります。たくさん的人数で楽しくするため皆さんゲストをお誘いください。



## 会員卓話

### 【地区セミナー報告】

山本クラブ奉仕委員長



7月26日、土曜日に 2008 - 09 年度クラブ奉仕合同セミナーに参加してきました。

今回のテーマは増強でした。

会員増強の目標達成と会員維持です。それを実施するための手段として、CLPの導入があります、ということでした。

RIが打ち出している目標は、会員増強 10%の純増、地区で2つの新クラブの結成です。10%の純増をすれば退会数を超えるから会員増大になるという考えだと思います。

ちなみに、2006年7月から2007年6月までのZone1～4の退会平均は8.49%です。

Zone別の退会率をみると、Zone1が7.97%、Zone2が8.60%、Zone3が7.99%、Zone4が9.88%です。Zone4が一番退会率が高いです。一番低いZoneは当クラブが所属するZone1です。10%の純増となると当クラブは現在31名なので約3名の会員の増強になります。

講演内容は、

第一部で、桑原 RRIMC より、会員増強の目標達成と会員維持 があり、

第二部で、服部 RRIMC より、手続要覧にCLPを読む、でした。

講演内容で、「会合に出た人がクラブで内容を伝えられないため時間と経費を無駄遣いしている」という内容もありましたので、できるだけセミナーの内容を伝えたいと思います。

講演の内容を全てお話することができませんので、重要だと思うことを自分なりにまとめて報告します。

会員増強は必要性に迫られているということです。

これ以上の会員数が減れば、十分な奉仕ができないということは確かだそうです。

しかし、現在、ロータリーの会員増強の前にロータリーの見直しが必要であるということです。なぜ、入会者より退会者の方が増え、ロータリーの人口が減っているか？ということです。これの根本を直さなければ、運よく会員が増えても、繰り返し同じ状態になるということです。それは、いつの時から、増強していったものの、会員強化をするのを忘れたからではないか？その結果、増弱になり、退会者を増やす原因になったのではないかとということです。

「強化のない増員は増弱」という言葉を使っていました。すなわち、私が思うに、会員強化をすることで、会員増強、退会防止につながるのだと思います。

で、会員強化の手段として、CLPの導入があります。ということでした。

それぞれのロータリークラブは独自に異なる存在であるため、CLPは世界中のクラブの個々のニーズに応用できる柔軟性を備え付けているそうです。本来は、クラブ独自の会員強化計画をたてればベストということでした。

会員強化をすることで、会員一人一人のロータリーへの関心・愛情・熱意がまし、自らの組織に自信と誇りを持てれば、現状なら一名しか勧誘できない会員が2名、3名と勧誘でき、結局増員につながるということでした。

また、会員強化をすることにより、魅力あるクラブになり、無駄な退会者がへることになるということでした。

次にCLPについて、少し触れたいと思います。

CLPの目的は

「効果的なクラブ管理の枠組みを提供することによりクラブの充実化を図ることである」

ではどういふことをやるかといいますと、6項目あります。

1. 長期計画の立案
2. 指導力の継続性とクラブを越えた指導者の育成
3. 全員参加の奉仕プロジェクト
4. 研修の充実
5. 委員会の簡素化
6. 財団支援

これがCLPの実際です。

セミナーの中で上記の6項目の詳細の説明がありましたが、説明を省かせて頂きます。

当クラブでなぜか自然にCLPに似た独自プラン

を導入していたので、その部分に関して、紹介させて頂きます。

1. 指導力の継続性で「直前・現・次期会長の太いパイプラインを設定」とありますが、これは、当クラブのP.P.(パスト・プレジデント)会に相当するのではないかと思います。

2. クラブ研修の充実「会長の時間・例会の挨拶・卓話では必ずロータリーを」とありました。これは、炉辺会議の最初にロータリー情報委員長による、「ロータリーとは」に相当するはずです。

上記の内容はCLPを導入していたというよりクラブ独自の会員強化計画になっていると思います。セミナーの報告はここで終了させていただきます。

GLP: クラブリーダーシッププラン

RRIMC: Regional Rotary International Membership Coordinators

(国際ロータリー会員組織地域コーディネーター)

これからは、セミナーの報告とは関係ありませんが、時間を頂いて私から少し提案させていただきます。このままでいいのかと真剣に考えているロータリークラブでは、「クラブ活力テスト」を行っているようです。

「クラブ活力テスト」を行うことで、効果的なクラブになっているか? 会員強化を必要ではないか? その結果でCLPを採用するか? それとも、当クラブのように独自プランでいくか、検討しているようです。

当クラブもせっかく独自プランをたてて進めているので、「クラブ活力テスト」を期のStart, とEndに行い、このままでいいのか、もっと、独自プランを考えなければいけないのか、やはり、CLPの導入を考えるかとかを検討していったら面白いのではないかと思います。

テストをする目的は、もうひとつあります。結果をだすということです。テストをしないかぎり、途中で修正ができないのが現実だと思います。

このままだと数年後にはクラブがなくなっている可能性があります。テストをして、当クラブは問題ないか? 問題があるか? だけでもはっきりさせるべきだと思っています。

で、今年から独自プランが機能したかのチェックを期の最初と最後にやりたいと思います。その結果をもって、次の独自プランを考えていけたら、効果的なクラブになるのではないかと思います。

会長の方針とは別にクラブの方針としてクラブが存続するかぎり継続していきたいです。

ニコニコBOX  
8月4日 第779回例会

穴倉会員 暑さ厳しい折 皆様ご自愛下さい。

合計 5,000 円

累計 ¥170,912 円

千葉東ロータリークラブ 会報委員長 野嶋 浩一 作成者 野嶋 浩一

創立:1991年1月21日 認証:1991年3月6日 例会場:ホテルニューオータニ幕張 点鐘:毎月曜日18:30

事務局:千葉市稲毛区穴川3-5-27 上総ビル303 TEL 043(251)2790 FAX 043(251)2726

HP <http://www.chiba-higashi.jp/>

Email chiba-higashi\_rc@jazz.odn.ne.jp